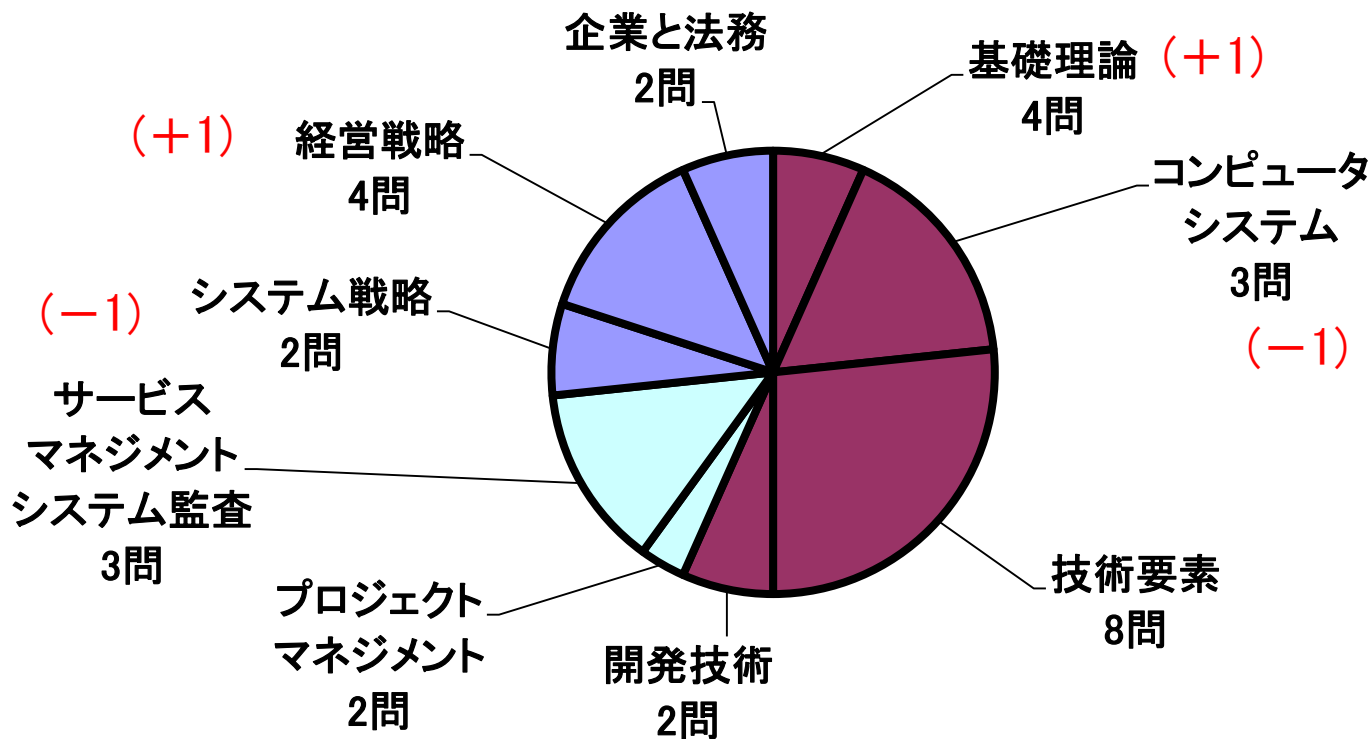


令和元年度 秋期試験 午前Ⅰ【共通】 出題傾向分析

TAC株式会社

午前 I【共通】 分野別出題数

- ・ 応用情報の午前試験より30問抜粋
 - － 出題比率は前回とほぼ同様
 - － 基礎理論の問題数が2回連続で増加



午前Ⅰ 特徴と難易度

- ・ 従来は2問程度だった基礎理論が4問に
 - － AIやディープラーニングなどが含まれる分野
 - － 新しい技術にも目を向けておくことが重要
- ・ 難しい問題が若干多かった
 - － 知らない受験者が多いと予想される新テーマ
 - ・ AIの機械学習(教師なし学習), 安全余裕率, PMO
 - － 正確な知識を要求
 - ・ 虹彩認証, キャパシティプランニング
 - － 計算が複雑
 - ・ ジョブスケジューリング
- ・ 全体的な難易度はやや難

今後の対策

- ・ 午前Ⅰ試験は午前Ⅱや午後に無関係な分野が多い
- ・ 一度合格したら2年間免除
 - － 午前Ⅰ対策に多くの時間を割くのは非効率的
- ・ 最小限の負荷で合格できる学習方法を
 - － 過去問題演習を活用
 - － 午前Ⅱとは異なり、問題と答えの暗記でもOK
 - － 通勤時間や昼休みの空き時間など、スキマ時間を活用してなるべく多くの問題を解く

ご清聴ありがとうございました

